

信濃毎日新聞

1873年(明治6年)創刊
発行所
信濃毎日新聞社
長野本社
〒380-8546 長野市南町765-7番地
電話(026) 受付236-3000
編集236-3111 販売236-3310
マーケティング(広告)236-3333
松本本社
〒390-8555 松本市中央2丁目20番2号
電話(0263) 代表32-1200
報道32-2830 販売32-2850
営業(広告)32-2860
©信濃毎日新聞社2024年

通常の紙面を包む
特別紙面です。開いてご覧ください。



参加方法

01 スマホのカメラで
QRコードを読み込む



02 環境を守るためにあなたに
できる行動を投稿してください

例) 食べ残しをしない!
エコドライブを心掛ける! etc

03 あなたの投稿で木にりんごが
1つ実ります

2カ月後の物語を変えられるのは、あなたです。
2人が見上げたこの木に、
鮮やかなりんごを実らせてくれませんか。
あなたのやさしいアクションが、この物語のエンディングを変えられます。
つづきは、2カ月後の紙面で。

僕は青い葉だけがざわめくりんこの木を見上げた。

2カ月後……?

彼女は現れたときと同じぐらい突然、姿を消した。

風がふわっと吹くと、

「どう変わっているか、一緒に見よう」

彼女の髪が風になびく。

「また来るよ、2カ月後に」

女の子の瞳は、笑っているようにも、困っているようにも見えた。

「……僕が？」

「君が、変わればね」

「みんなが変わればね」そして僕のほうを向く。

女の子は木を見上げながらそうつぶやいた。

「でも、また赤くなるかもしれない」

小さくて貧相なものだけだ。

僕が知っているりんごは妙に白っぽい色をして、

「赤いらんごなんて想像もできないけど」

この木が変わってしまったのは……温暖化が急激に進んでからだという。

僕にそう話しかけていた。

気づけばりんごの木の下には女の子がいて、

「りんごって、昔は赤かったんだって」

